

マクロ経済学		講義	准教授 小松原 崇史	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目, 会計ファイナン スコースの専門選択科目, 経営・経済コースの専門選 択科目, 教職科目	科目ナンバリング	23222201 25320218	

1. 授業のねらい・概要

マクロ経済学についての基本的な考え方を説明する。各国の経済成長の可能性をさぐるものが、マクロ経済学の目指していることである。本科目の履修にあたっては、「経済学基礎」を履修済みであることが望ましい。

2. 授業の進め方

講義形式で授業を行う。講義の理解を深めるため、問題演習を行うこともある。学生の理解度に応じて、以下の授業計画は、多少変更する可能性がある。

3. 授業計画

1. マクロ経済学とは	9. 生産可能性
2. 経済の所得と支出	10. 特化と交易
3. 国内総生産の測定	11. 絶対優位
4. GDP の構成要素	12. 機会費用と比較優位
5. 実質 GDP と名目 GDP	13. 比較優位と交易
6. GDP は経済厚生のよい尺度か	14. 取引の値段
7. 前半のまとめと復習	15. 後半のまとめと復習
8. 相互依存と交易からの利益	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講後、その回の内容を復習する。そのためには、毎週1、2時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

解答を試験終了後に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

マクロ経済学についての基本的な考え方が理解できるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験（100%）により評価する。

8. テキスト・参考文献

参考書として、N・グレゴリー・マンキュー著『マンキュー経済学 II マクロ編（第4版）』（東洋経済新報社、2019年）を使用する。

9. 受講上の留意事項

私語を厳禁とする。守れない学生に対しては、直接注意を行い、改善が見られない場合には退出を求める。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。